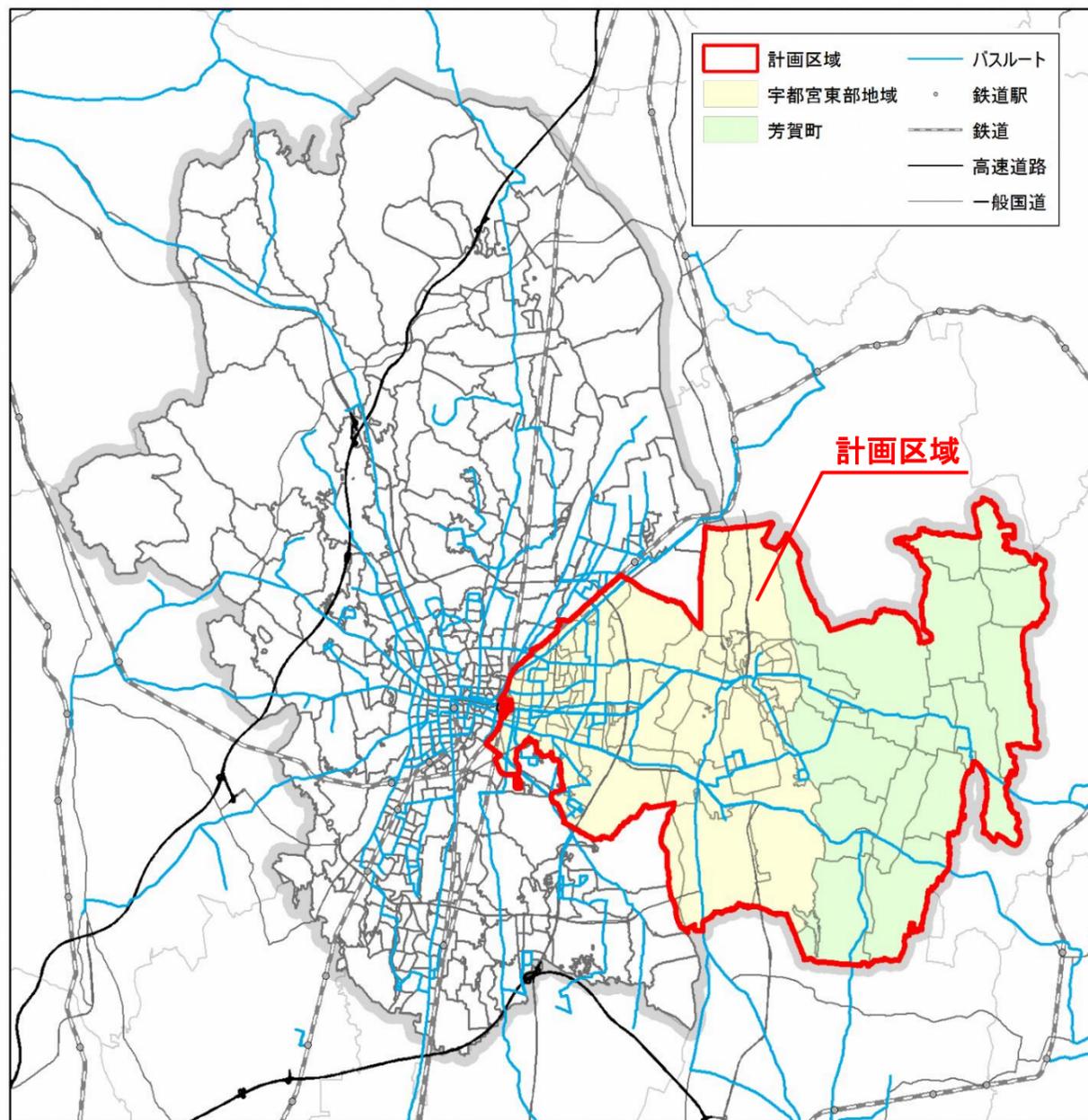


計画策定の目的

芳賀町と宇都宮市は、平成27年11月に「芳賀・宇都宮東部地域公共交通網形成計画（以下、「網形成計画」という。）」を策定し、計画に基づき、基幹公共交通としてのLRTの整備や交通結節機能の強化と併せて、「バスネットワークの再編」に取り組んでいるところであり、再編の円滑かつ確実な実施に向けて、再編後の具体的な運行ルートや運行本数などの運行計画の詳細を取りまとめた「芳賀・宇都宮東部地域公共交通利便増進実施計画」を策定するもの。

実施区域

芳賀町全域、宇都宮市東部地域



地域公共交通利便増進実施事業の内容

○ 事業内容

鉄道やLRT、バス、地域内交通が効果的・効率的に連携した、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの実現のため、LRTの導入と合わせてバス路線の再編を行う。

■バス路線再編の方向性

① 公共交通空白地域の解消

・ LRTの周辺地域などに存在する公共交通空白地域を解消するため、地域内交通と役割分担しながら、バス路線の新設・拡充を図る。

② 定時性・速達性の向上

・ 定時性・速達性の向上のため、遅延が発生しやすい長大路線の定時性に優れるLRTへの接続を図る。

③ 運行の効率化、公共交通間の役割分担

・ LRTの運行経路と重複するバス路線については、LRTの周辺や郊外部等を運行する支線バスなどに置き換える。  
 ・ 郊外部等の利用者が少ないバス路線については、運行の効率化に向け、地域内交通との役割分担を図る。

④ 事業運営の継続性の確保、経営資源の有効活用

・ バス事業者の継続的な事業運営のため、再編後のバス路線の収支に配慮しながら、車両や乗務員などの経営資源をバス路線の新設・拡充等に最大限活用する。

○ 実施主体

芳賀町、宇都宮市、交通事業者

○ 具体的な再編内容

再編内容の概略図（別紙2参照）

## 地方公共団体による支援等の内容

### (1) 再編後のバス路線の維持・存続に向けた支援

再編により新設するバス路線については、需要の定着に一定の期間を要し、再編初動期においては、運賃収入が不安定となる可能性があることから、運行事業者にとってのリスクを軽減し、再編後のバス路線の維持・存続に向けて、まずは行政が運行主体となり、委託等による運行を行う。（芳賀町・宇都宮市）

### (2) 地元住民への説明会等の実施

バス路線再編にあたっては、地元住民に対して、再編によってどのように公共交通ネットワークが変化するかを示し、理解促進を図る必要があるため、再編後の公共交通ネットワークについて、以下のとおり、周知等を実施。

（芳賀町）

町広報紙やホームページ、ケーブルテレビを活用した周知のほか、「道の駅はが」などでのパネル展示や出前講座を実施

（宇都宮市）

市広報紙やホームページによる周知のほか、JR宇都宮駅東側の地域に対しては、地区市民センターや大型商業施設等でのパネル展示に加え、地区別に住民説明会を開催

## 利便増進実施計画の期間

令和5年度～令和6年度（上位計画である「網形成計画」の計画期間と整合）

実施項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
バス路線の再編	交通事業者等との協議・調整		8月再編 再編に向けた準備 (バス停新設等)	運用
(参考) LRTの導入	LRT整備工事等		8月開業	運用

## 地域公共交通利便増進事業に合わせて行う事業

実施項目	事業概要	実施主体
LRTの導入	安全で快適な移動手段を確保し、産業拠点の維持・向上や公共交通空白・不便地域の解消、環境負荷の低減などを行うため、自動車利用からの転換を促進する公共交通ネットワークの実現に向け、東西基幹公共交通としてLRTを導入	芳賀町 宇都宮市 宇都宮ライトレール(株)
交通結節機能の強化	LRTを東西基幹公共交通として、様々な交通機関が連携した利便性の高い公共交通ネットワークを形成するため、鉄道やバス、自動車などの各種交通との乗り換えが想定される箇所において交通結節機能を強化 以下の5箇所を整備箇所とする。 ・JR宇都宮駅東口 ・宇都宮大学陽東キャンパス前 ・平石 ・清原地区市民センター前 ・芳賀町工業団地管理センター前	芳賀町 宇都宮市
地域内交通・デマンド交通の導入	郊外部における公共交通空白地域を解消するため、地域を面的にカバーする地域内交通を導入するほか、市街地においても、既存の公共交通との役割分担、地域特性等を踏まえた生活交通の確保を推進。あわせてLRTやバスとの接続を強化。	芳賀町 宇都宮市 (地域運営組織と連携)
運賃負担の軽減	利用者の運賃負担軽減を図るため、公共交通間を乗り継いだ際の運賃を割り引く「乗継割引制度」の対象範囲を拡大 ・R4年9月～：バスと地域内交通との乗り継ぎのみを対象 ・R5年8月～：LRTとバス・地域内交通との乗り継ぎを対象に追加 ※芳賀町においては、LRTとバスとの乗り継ぎのみを対象	芳賀町 宇都宮市
モビリティ・マネジメントの実施	過度に自動車に依存しないライフスタイルへの転換を図るためには、LRTの導入やバスネットワークの再編に合わせて、公共交通の利用促進を図ることが重要であることから、行政や交通事業者、地域住民・企業等が連携し、様々な機会を捉えて意識啓発を行い、自動車から公共交通利用への転換を促進 【主な取組内容】 ・totra配布 ・バスの乗り方教室の開催 ・バス路線マップの配布 ・公共交通利用促進パンフレットの配布 ・公共交通PRブースの出版 ・出張ライトライン見学会 ・エコ通勤普及促進事業	芳賀町 宇都宮市 宇都宮ライトレール(株) バス事業者 等

## 事業の効果

### 事業の効果

#### 公共交通空白地域の解消

- LRTの導入やバス路線再編により、公共交通カバー面積が向上

	現状	再編後	増減
公共交通カバー面積 (L+バス+地交)	137.0km <sup>2</sup>	140.5km <sup>2</sup>	+3.5km <sup>2</sup>
カバー率	95.4%	97.2%	+1.8%

- バス路線の新設により、地域内交通に加え、バス路線でも移動できるエリアが拡大

【バス路線で新たに移動できる目的地】

例1		例2		例3	
出発地	目的地	出発地	目的地	出発地	目的地
ゆいの杜北部	清原TC	辰街道北部	ベルモール	辰街道南部	宇都宮東病院

#### 定時性・速達性の向上

- バスとLRTを接続させることで、速達性が向上

【郊外部からJR宇都宮駅までの所要時間（※現時点での試算値）】

停留所名	現状（バス）	再編後（L+バス）	増減
清原台3丁目	53分	43分	△10分

#### 運行の効率化、公共交通間の役割分担

- LRTと運行経路が重複するバス路線を支線バスに置き換え、充実させることで、1日あたりの運行本数が増加

	現状	再編後	増減
平日	506本	654本	+148本
土曜日	399本	414本	+15本
日曜日・祝日	320本	323本	+3本

※実施区域内における運行本数

- バス路線の運行ダイヤを調整し、等間隔（〇分間隔）での運行を実現することで、利用者の待ち時間を短縮

【国道123号からJR宇都宮駅方面に向かうバス路線の運行間隔（日中）】

現状	再編後	増減
最大20分	最大15分程度	△5分程度